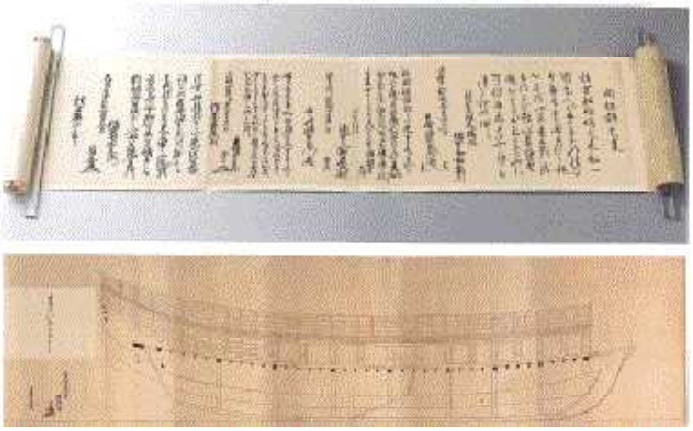
船大工樗木家関係資料

【所　在　地】薩摩川内市中郷 2-2-6　川内歴史資料館
【種　　別】国指定有形文化財（歴史資料）
【指定年月日】平成７年６月 15 日



川内市の久見崎港は，鹿児島藩の直轄軍港のあったところで，藩船の建造，修理が行われていた。

樗木家はその船大工の家で，総船大工を勤めた樗木七郎右衛門の資料を中心に，技術伝授書や建造記録，船形図面，大工道具等がある。特に資料中の安宅型軍船図は，二形型という形式の安宅船の唯一の図面である。

明暦３（1657）年から享和２（1802）年の間の資料で，船大工資料として古い時期のものであり，しかも造船資料としてまとまって伝存し，質的にも現存船大工資料中随一である。

（内容）

一，文書，記録類　　215 冊，14 巻，１帖，270 通，４枚
一，差図類　　10 巻，46 通，２枚
一，道具類　　12 点，　１包